

サッポロビールがカールスバーグ社と戦略的資本業務提携—格付に影響せず

以下は、サッポロビール株式会社（証券コード：2501）が、カールスバーグ社との戦略的な資本業務提携に関する公表を行ったことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は6日、カールスバーグ社と東南アジア・香港における戦略的な資本業務提携を構築することを決議したと発表した。本件ではシンガポールに合弁会社を設立し、カールスバーグ社が対象地域の事業を拠出する一方、当社は約643百万米ドル（約1,029億円）を出資して25%の持分を獲得する。合弁会社は関連当局からの許認可・承認等を経て、本年12月に設立される予定。当社は当該合弁会社に対し長期ブランドライセンスを提供し、配当やブランドロイヤリティ、製造収益といった多様な収益機会を確保する。販売面では、35年までに対象市場における「Sapporo Premium Beer」(SPB)の販売数量を、25年と比較して約10倍に拡大することを目指す。また、カールスバーグ社とは英国でも長期ブランドライセンス契約を締結し、ミャンマーでもブランドライセンスを行うことで合意。今後、アジア・欧州におけるSPBの展開地域の拡大も検討することとなっている。
- (2) 本件は不動産事業の外部資本導入や通常の事業活動で獲得した資金を、海外市場における自社ブランドの販売拡大に向けた事業基盤確保に充当するものである。不動産事業の外部資本導入については6月1日に第1回目のクロージングが行われ、サッポロ不動産開発の株式51%の持分の異動が行われた。本件出資額はそのキャッシュインの範囲内にも十分収まるものとみられ、出資後も財務構成は健全性の高い状態が維持されると想定される。また、こうした成長投資が実施される可能性については前回の格付見直しで考慮しており、本件による格付への影響はない。JCRでは今後、本件出資等を通じて海外酒類事業の収益力を強化し、業績を持続的に成長させていくことができるか注目していく。

(担当) 殿村 成信・藤田 剛志

【参考】

発行体：サッポロビール株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル